



なのみ通信

筑前町立東小田小学校 学校通信 8月5日 第5号



梅雨が去って暑い夏が来ても
真剣に学ぶ子どもたちのとても
素敵な姿があります。

(写真提供:4年生 8月)

◆ 次の一歩へ ◆

いつもと異なる今年の1学期は、長い臨時休校により保護者の皆様にも大変なご心配やご負担をおかけしました。何とか、8月6日をもって1学期終了に至りましたのも、子ども達を見守り、寄り添い、励ましてくださった皆様のお陰です。学期末の保護者アンケートやこれまでにいただいた励ましのお言葉、ご指摘・ご助言を今一度振り返り、職員一同、次の一歩につないでいきたいと思えます。ありがとうございました。

◆ 8月の終業式 ◆

一学期、戸惑いながらも前を向き歩いた子ども達とのしばしの別れ。終業式で私が伝えたい思いをこっそりお知らせします。

(冒頭部分は略)

- 四月。皆さんはずっとおうちで過ごしていました。先生は、皆さんの登校を待ち、教室の準備や授業の練習を続けました。
- 五月。分散登校。少しずつ皆さんが登校すると先生の表情がとてとても明るくなりました。心に明かりがともっていました。
- 五月末、短時間の全員登校。会えないままだった友達との再会。「おー」嬉しくて胸が詰まって言葉が出ませんでしたね。
- 六月。ついに完全再開。六月六日は待望の入学式。桜の花はなくても、紫陽花の花が迎えてくれました。おいしくて重い給食を当番さんがみんなのもとへ毎日一生懸命運びましたね。
- 七月。長い梅雨は各地に災害をもたらしました。雨ばかりの毎日。でも長い休校の間にみんなと遊びみんなと学ぶ喜びを知った皆さんはよく遊び、一生懸命に学び続けていました。
- 夏、八月。青空+水しぶき+人間洗濯機といえはプール。虹の向こうで皆さんの笑顔が、向日葵のように輝いていました。
- 八月、忘れてはならない日。七年前の今日、八月六日広島が、九日長崎が被爆した日。戦争のことを良く学び「平和ってどんなことだろう」その意味を自分自身に問う八月です。

今、新型コロナウイルスへの感染が再び広がっています。また感染への不安がいろいろな人を傷つける言動を生んでいます。でも皆さんは、ウイルスから自分を守り、周りの人を守るためにできることをよく知っています。夏休み、学校を離れても東小田のテーマは「目の前のことを真剣に」です。目の前のことを真剣に考え、行動するあなたでいてください。

結びに、元気でいてください。お勉強も頑張ってください。家族の立派な一員として、おうちの仕事も頑張ります。そして、またここに元気いっぱいにもどって来ててください。